

令和5年度 教科用図書北部採択地区協議会
令和6年度使用小学校用教科用図書の「選定教科用図書」及び「選定理由」

【道徳】

1 選定教科用図書

- 光村図書

2 選定理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 全学年で「生命の尊さ」に関する内容を3教材ずつ配置し、継続して自らを大切にすることを考えられるようにするなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
- 教材末の学習の手引きでは、段階的に考えを深めていく発問や考えたことを問い直す発問を提示するなどして、児童に多様な価値観で話し合いをさせることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。
- 「話し合いのこつ」を紹介することで、議論の活性化を図るような工夫が見られる。また、巻末で1時間ごとの振り返りを記録する「学びの記録」を設けることで、1年間の振り返りが容易にできるような工夫が見られる。
- 年中行事や地方の行事、伝統的に使われてきた物や自然保護に関する教材が配置されており、巻末の付録では、身近な地域の自然や受け継がれてきた伝統文化にも目を向けさせ、地域に関わっていこうとする意欲を高めることができる工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- この時間に何をどう教えるかが明確で、児童が学ぶ価値項目を短い言葉で分かりやすく示すことができる。また、全ての教材で、考えよう、話し合おう、さらになげようが位置づけられており指導がしやすい。
- 一年間を見通した学習内容が視覚的に整理されており、児童が道徳の授業のイメージを持つことができるような工夫が見られる。